

# 体育・保健体育研究委員会

## 1 研究テーマ

「今ある力をもとに、自ら運動の楽しさを深めてく体育学習はどうあったらよいか」  
～自己表現の楽しさや友との関わりあいを深めるボールルームダンスを通して～

## 2 研究内容 ※日本ボールルームダンス協会の実証授業も兼ねている

研究授業実施日	平成22年11月17日（水）
学 校 名	須坂市立豊州小学校
単 元 名	ボールルームダンス『チャチャチャ』
授 業 学 級	6年松組 男子11名 女子10名 計21名
授 業 者	臼井 由美子 教諭

◎ボールルームダンスをどのように教材化し、授業づくりを進めていけばよいのだろうか。

- ・どのような運動の特性が考えられるのか
- ・子どもの視点に立った、単元構想や学習の進め方の在り方について
- ・教師の発問内容や支援の在り方について
- ・学習に必要な資料や学習カードづくり

◎子どもは、どのようにボールルームダンスをどう捉え学んでいくのか。その姿を追いながら授業づくりを進める。（須坂小学校の実践も合わせて）

## 3 研究の成果

### (1) 指導の実際と子どもの姿

#### 【チャチャチャとの出会い…第2時】

子どもたちは、チャチャチャと出会い気づいたことを発表していった。（教師）「何か聞こえる？」、（C1）「太鼓の音が聞こえた」、（C2）「間をあけて、ポンポンって感じだった」、（C3）「チャンチャン チャチャってリズムだった」、（C4）「アクセントが後の方にあった」と語っていった。教師は、「この音楽がチャチャチャって言います。今日は、このチャチャチャのリズムを体で感じながら、どうやって歩いたらそのリズムを感じることができるか、ペアで相談しながら踊ってみよう」と学習課題を確認させた。

ペア学習が始まると子どもたちは、手を使って足の動きを考え合ったり、「いち、にっ、さん、チャチャ」と声を出しながら動きを考え合ったりしていった。チャチャチャの音楽が流れる中で、子どもたちはペアで、ボックス・サイドステップ・バックステップなど動きをつくり出していった。

子どもたちは、授業の振り返りで（C5）「足がちゃんと動いて良かった」、（C6）「手も足といっしょに動いていてよかったし、ペアの息も合っていて良かった」、（C7）「でも、最後チャチャの時、足が合わなかった」、（C8）「もっと足を使ってリズムをとった方がいい」、（C9）「チャチャチャの所を意識してダンスを作るのが難しい」などと語っていった。